

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

＜試料・情報の利用目的及び利用方法＞

●研究の名称

動脈瘤性くも膜下出血後の遅発性脳障害と機能予後に関する単施設後方視的研究

●研究の対象

2022年1月1日から2026年4月30日までに京都第二赤十字病院脳神経外科において、動脈瘤性くも膜下出血に対して加療を受けられた患者さんを対象とします。

●研究の目的

動脈瘤性くも膜下出血後には、遅発性脳虚血、脳梗塞、発熱、感染症などの遅発性脳障害が生じ、機能予後に影響を与えることがあります。今回、当院で治療を受けられた患者さんの診療情報を調査し、これらの因子と機能予後との関連を検討することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2026年10月31日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の＜利用する試料・情報の項目＞について、診療録および画像所見を用いて調査します。

＜利用する試料・情報の項目＞

●試料：なし

●情報：年齢、性別、既往歴、発症時重症度、画像所見、治療内容、血液検査結果、
薬剤の使用状況、発熱、感染症、遅発性脳虚血、脳梗塞、MRI所見、機能予後など
なお、利用する上記の試料・情報からは患者さんを直接特定できる個人情報削除します。

＜利用を開始する予定日＞

研究機関の長の実施許可日

＜利用する者の範囲＞

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 脳神経外科 阪本 真人

《試料・情報の管理について責任を有する者の名称》

京都第二赤十字病院 院長

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：脳神経外科 阪本 真人

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）